

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)スルガ銀行沼津南支店 新築	階数	地上1F	
建設地	静岡県沼津市下香貫上陣子376-1	構造	S造	
用途地域	準工業地域	平均居住人員	24 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年9月2日	
敷地面積	1,540 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 高柳 拓	
建築面積	188 m ²	確認日	2021年9月2日	
延床面積	176 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 高柳 拓	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.0</p> <p>音環境 2.7 温熱環境 2.7 光・視環境 3.7 空気質環境</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.1</p> <p>機能性 3.1 耐用性 3.0 対応性 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.7</p> <p>生物環境 2.0 まちなみ 3.0 地域性・ 3.0</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.1</p> <p>建物外皮の 5.0 自然エネ 3.0 設備システ 4.4 効率的 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.2</p> <p>水資源 3.4 非再生材料の 3.3 汚染物質 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.6</p> <p>地球温暖化 3.9 地域環境 3.4 周辺環境 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物利用者のための室内環境に配慮するとともに、地球環境への影響を考慮しリサイクル資材の積極利用やLED照明設備を採用した。</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建築基準法を満たし、かつ建築基準法規制対象外となる建材をほぼ全面的に採用し居住空間の室内環境に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>事務室は十分な天井高とし窓を配置、また執務面積に対し十分なリフレッシュスペースを計画し、従業員の執務環境の形成に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特に無し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>Low-eガラスを用い外皮熱負荷抑制に配慮をしている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>リサイクル材の使用や省水設備を採用するなど、省資源に配慮をしている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器を使用せず地球環境に配慮した計画とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される